

事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2021年 2月 26日 事業所名 児童デイサービス こうさぎ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		定員20名に対してプレイルームの広さは十分確保している。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○		既定の人数に1人加えて対応している。	スタッフ数の周知に努めている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		車いす等でもスムーズに移動できるようにしている。	保護者様の周知度が低いのでお部屋参観などの企画をし、安心してもらえるように努める。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		清掃も毎日行っており、手洗いの際はペーパータオルを使用している。空気清浄器等も完備している。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか	○		スタッフのミーティングや振り返りを行なっている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		保護者様から頂いた意見をしっかりと受け止め改善に努めている。	
	7	事業所向けの自己評価表及び保護者向けの評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ホームページにて公開している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		内部監査を定期的に行っている。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		月2回の研修に加え外部の研修にも参加している。	
適切な支援の	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成	○		1年ごとに保護者様に書いていただく支援調査票に加え家庭訪問等行い聞き取りをしている。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		固定したアセスメント表をしようしているが、標準化されたアセスメントツールは使用していない。	
	12	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定され	○		支援に加え個別課題の設定もしている。	
	13	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	○			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		何名かで話し合いをして立案している。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		工作・公園・遠出先もなるべく変える様に工夫している。	
	16	(放課後等デイサービスのみ) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			

提供	17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		保護者等・スタッフと話し合いを行い計画を作成している。	
	18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		午前中にミーティングを行い打ち合わせをしている。	
	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○	支援終了後は時間がバラバラな為に業務日報により振り返り等行っている。	支援終了後に打ち合わせを出来る様に体制を整えていきたい。
	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	21	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	22	(放課後等デイサービスのみのみ) ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	24	(児童発達支援のみ) 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか		○	保護者との連携しか取れていない状況。	他機関との交流を深めていける様にしていきたい。
	25	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		学校の下校時間は保護者から連絡を受けている。学校に送迎時に先生に聞きくこともある。トラブルがあるときなどは学校から直接連絡をもっている。	
	26	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			該当なし	
	27	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			該当なし	
	28	(児童発達支援のみ) 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○	保護者との連携しか取れていない状況。	他機関との交流を深めていける様にしていきたい。
	29	(児童発達支援のみ) 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○	保護者との連携しか取れていない状況。	他機関との交流を深めていける様にしていきたい。
	30	(放課後等デイサービスのみのみ) 就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	保護者との連携しか取れていない状況。	他機関との交流を深めていける様にしていきたい。
	31	(放課後等デイサービスのみのみ) 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等して		○	保護者との連携しか取れていない状況。	他機関との交流を深めていける様にしていきたい。
	32	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	外部の機関とはあまり連携が取れていない状況。	他機関との交流を深めていける様にしていきたい。

携	33	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	外部の機関とはあまり連携が取れていない状況。	他機関との交流を深めていける様にしていきたい。
	34	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○	現在あまり参加できていない状況。	今後しっかりと参加し、交流を深めるとともに知識も深めていきたい。
	35	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○	送迎時に保護者と話をしたり、連絡ノートを活用し伝えている。	
	36	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○	事業所でうまくいったことなど保護者に伝えている。	
保護者への説明責任等	37	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		○		
	38	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の同意を得ているか		○		
	39	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		
	40	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	年に2回、保護者会等行っている。	今回は新型コロナウイルス感染の影響で開催できず。
	41	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○	何かあればすぐに対応できる体制は作っている。	
	42	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○	インスタグラムやお知らせの用紙等配布している。	
	43	個人情報の取扱いに十分注意しているか		○	スタッフのミーティングも行い、インスタグラム等を公開する際にも気	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○		
45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	夏祭りを行い地域住民のみなさまが参加できる環境はある。		
非常時等の対応	46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		○		保護者様とのすり合わせがしっかりとっていないので、周知度を高めていく
	47	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○	年に4回訓練を行っている。	訓練を受けれていない児童もいるので、全員受けられる体制を整える
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか		○	支援調査票・聞き取りで把握している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか		○	支援調査票・聞き取りで把握している。	
	50	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		
51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○			

52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に記載し	○			
----	--	---	--	--	--

○ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。